

広報

12月号

ながはま



大勢の人が参加して営まれた落慶法要

45年ぶりに 大師堂が完成

金山出石寺

真言宗御室派別格本山、金山出石寺（神山諦仁住職）の大師堂が完成し、十月二十一日、二十二日の二日間、同寺で落慶法要が行われました。

これは、昭和十六年の大火で焼失し、仮堂で弘法大師を祭っていたもので、昭和五十九年から弘法大師入定千五百五十年御遠忌を記念して総工費二億三千万円をかけて工事が進められていたものです。

大師堂は、約百三十二平方尺、寄せ棟造りで、屋根は銅板本ぶき、高さ五十五尺の弘法大師の木製の座像が安置されることになっています。

二十一、二十二の両日、稚児行列やもちまきなどが行われ、みんなで完成を祝いました。

今月号の主な内容

- 〈町議会第3回定例会〉
- 施政方針要旨……………2~3
- 一般質問……………3~7
- 新教育長に木田正統氏……………7
- 昭和61年度9月末現在長浜町の財政 ……8~9
- 愛媛県知事選挙 62年1月11日 ……9
- 自動血圧測定器役場に設置……………10
- 一歳ですコンニチハ（篠田文香ちゃん）…10
- 長浜文芸（柴俳句会）……………10
- 続まちの先覚者（西村正直）……………12

信頼され開かれた町政

気概と情熱で町づくりの専念

昭和六十一年第三回定例会が、十月二十八日から三十日まで三日間の会期で開かれ、西田町長就任後初めての定例会で、今後四年間の町政に取り組む心構えなどの施政方針を表明しました。

続いて五人が一般質問を行い、昭和六十年度の一般会計、各特別会計の会計決算認定、教育委員会委員の任命、請負契

施政方針要旨

町行政の推進

私が考える行政の役割と政治に対する信念は、町民の皆さんが真に願うことを実現してゆくことが行政の使命と考えるものであり、それは私達の郷土が明るく住みよい、活気あふれる人情味豊かな郷土になることである。郷土を愛する心を常に忘れることなく、気概と情熱、若さと行動力をもって町づくりに専念し、町民の皆さんと共に歩み、協調と連帯を基盤に、信頼され開かれた町政を目指す覚悟である。

住民の方々の意志を尊重し、最少限の経費で最大の効果を發揮するよう無駄を省き、非効率な施策や経費を廃し、有効適切なものは

これを積極的に取り入れ、効率の高い経営的行政運営を進めていきたい。

第二次開発事業の完成と第三次開発事業の推進

豊かな水と恵まれた海と港を有する長浜にとつて、第一次開発で得た土地、第二次開発で造成される土地は貴重で大きな財産であり、二十一世紀にむかって本町が大きく発展してゆく上において欠くことのできない資本である。

第二次開発事業は予定通り進捗しており、六十四年に用地造成が完成し、町内外より企業が進出し

約の締結などの議案が審議され、決算認定案件は継続審議となり、その他の議案はいずれも原案通り可決されました。また、少額貯蓄に対する非課税制度の存続に関する請願や柴小屋内運動場、出海小プール建設に関する陳情書などの報告案件は受理採択されました。町長の施政方針、可決されたこと、一般質問のあらましをご紹介します。

て、若い人達の働く場所が確保でき、人口流出に歯止めをかけることができるものと確信している。

第三次開発事業については、一日も早く基本計画を策定し、年度末には全容を議会にご提示できるよう努めていきたい。この基本理念は、長浜町振興計画

基本構想に基づき、第一次、第二次開発に続く第三次開発事業を総合的に推進し、工業開発、港湾整備、都市機能及び生活環境施設等の整備について基本事項を定め、住民福祉の向上と将来の発展方向を明示するもので、海の資源を活かしたマリントウンづくりをしていくものである。

この第三次開発事業の推進には、



施政方針を述べる西田町長

基幹産業の育成発展

育成発展

農林水産業の育成発展は、長浜町だけでなく、国においても重要

な施策であるが、構造的な不況、輸入自由化、円高傾向の進む中で、第一次産業の現状と将来は非常に厳しいものがある。これを取り越えるためには、生産段階で高品質、低コストを目指す必要がある、その条件整備、情報収集、技術経営等の指導に積極的に取り組んでいく考えである。

情報化時代により、産業全体にわたり変化しており、これに対応する柔軟かつ積極的姿勢が必要のため、若い後継者づくりをぜひやりたいと考えている。

このほか、高収益作物転換への助成などを行い、農林道の整備と漁場整備を計画的、効果的に実施していきたい。

地場産業の育成と商店街の活性化

急速に進む過疎化に悩む本町にとって、雇用の場を確保することは、最も重要な施策であり、行政との連携を密にし、官民一体となつて育成に一層の努力を払わなければならないと考えている。

商店街が活気づくことにより、町の活性化にもつながり、長浜町がもっている観光財産をフルに利用して、町外の消費者を誘導できる個性的で魅力ある商店街づくりを目指すため、商工会の皆さんを中心に、お互いあらゆる知恵を出し合い、研修を積み重ね、時代の求めるところにマッチした商店街づくりに努めていきたい。

町議会第3回定例会

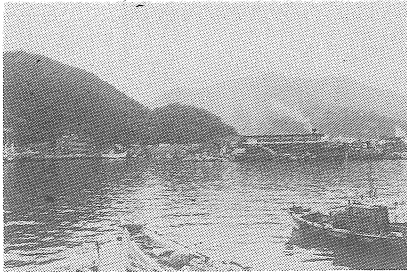
教育の充実と

福祉の向上

教育は人づくりであり、国家大計の最も根幹となるものである。イジメ、校内暴力などの問題が大きくクローズアップされているが、これは、児童生徒だけでなく、家庭、教師、社会環境の要素がからむ問題であり、解決に向けて一体となって取り組まなければならぬと考えている。

本町教育行政においては、より人間を中心とした総合的な教育計画を立ててゆく必要がある、文化芸術の多様な創造的活動を進めながら、生徒が豊かな環境の中での集団生活を通じ、人と人、人間と自然とのふれ合いを多くもたせ、地域社会への理解を深める学校教育活動を推進し、心身共に調和のとれた教育体制の確立を図っていく考えである。

福祉については、進行する高齢化社会において配慮しなければならぬ



埋め立てが予定されている内港

らない課題であり、お年寄りや障害者の皆さんが安心して生きがいのある快適な生活を享受して頂けるよう各種の制度や施設の充実を図っていく考えである。

真に福祉を必要とする人々に対して温かい愛の手をさしのべることが基本であり、従来行われてきた体制をより徹底した内容にしていきながら、先を見通したあらゆる階層の健康づくりにも力を入れていきたい。

信頼される

役場づくり

町の活力源とも言うべき若い力の掘り起こしをあらゆる分野にわたって実行し、次代を担う後継者の養成に努め、若さと行動力を行政に取り入れ、活気ある町政を展開してゆく決意である。若い力や知恵やアイデアがあっても、町役場が組織的に機能する十分な力をもっていないならばならないので、明るく信頼される町役場づくりをしていきたい。新しい時代に応えられる公務員としての使命感に徹した、真に町民の方々に信頼される役場職員の人づくりに努めていきたい。

道路網の整備

四国縦貫自動車道が大洲市まで計画区間として決定されており、また、本四架橋児島・坂出ルートが昭和六十三年には開通するな

ど高速自動車時代の到来が必至となっている現在、将来の交通変革に対処して調和と整合性のある総合的道路交通計画は、第二次、第三次開発に大きくかわりをもつだけに極めて重要な施策である。この計画は、第三次開発基本計画の中に組み入れる予定であり、計画書が調製され次第、これら道路網の整備についてご説明申し上げます。

おわりに

本年度の取り組みとして、前町長並びに議会の皆様方によって敷かれていた路線を受け継ぎ、これを実行すると共に、私の行政姿勢と考えによって肉付けをしていきたい。

政治行政は全くの無経験者であり、勉強をして全力を投入する覚悟であるので、皆様方の温かいご指導とご協力をお願い申し上げます。

一般質問

今回の議会では、和田永吉議員、中野茂明議員、菊地儀明議員、田中定幸議員、堤正和議員が質問を行いました。

官民一体で

地場産業の育成

行政に取り組む姿勢

和田議員：広報ながはまに掲載

のあいさつ文で、「農林水産業、地場産業の育成、発展、商店街の活性化、人づくり教育の充実、若い力の掘り起こしと次代を担う後継者の養成、明るい町役場づくりに官民一体となって取り組んでいく」と述べられているが、具体的にどのように取り組んでいくのか。

西田町長：第一次産業をとりまく環境は、構造的な不況、輸入の自由化、円高など国際経済の渦中であって、次第に厳しい様相を呈しており、その振興を図るためには、高品質、低コストを目指す一方、その基盤、情報、技術等の条件整備を進めることが必要であると考えている。具体的には、農林道網の整備、漁場の整備を計画的に実施し、生産性の高い第一次産業への取り組みをしなければならぬと考えている。

地場産業の育成についても、町の雇用機会はもとより、町経済を支える重要な産業であり、官民一体となった育成を図るため一層の努力を払わなければならないと考えている。

このことは、基盤整備などのハードな面のみで一朝一夕にその方途が講じられるものではないので、各界の先輩はもとより、活力みなぎる後継者の皆さんとひざを交え、お互いに研究、研鑽を重ね、潤いのある町づくりをしていく所存である。

和田議員：六十一年度森林計画が策定され、基盤整備、間伐等の森林活性化のために努力をしてい



町づくりの視点から間伐材の有効利用を

くような計画がなされているが、その中で、広域的機能をもっている健全な森林育成のための間伐事業、円高等により異常に木材価格の低迷している中で、基盤整備をやって頂きたいがどのように考えているか。

西田町長：基盤整備については現在役場が持っているブルドーザーを有効的に使い、受益者の皆さん方のご協力を頂きながら計画的に、着実に推進していきたいと考えている。また、後継者の方とお話した時に、小型ユンボというような話もでていたが、町で所有するのがいいのか、民間で借り上げるのがいいのか検討しており、後日ご返事申し上げます。

間伐事業についても、間伐材の有効利用など町づくりというように総合的な視野からも具体的に煮詰めていきたい。

三人を新規採用

六十二年年度

少数精鋭主義と職員構成

和田議員：行政改革が推進されるなか、少数精鋭主義ということ町職員の採用を控え、役場内の活性化が求められている現在、若い人を採用し、新しい息吹きを吹き込む必要があると思うがどのようか。

西田町長：ご指摘のように、昭和五十六年以来一般職員の採用を控え、行政需要に対応してきているが、今年度末から昭和六十六年度末にかけて三十五人の職員が定年退職を迎えるため、町行政の計画的推進を図るうえからも最少限の職員採用をしていく考えである。昭和六十二年年度に三人を新規採用することにしており、事務の合理化等の検討を加えながら、時代に即応できる行政センスと能力をもった職員の採用をしていきたい。

バランスある

施策を

開発事業と一般行政経費

和田議員：長浜町の命運をかけた第二次開発事業に引き続いて、都市機能施設、公園緑地、町民憩いの場造りなどの第三次開発事業の漁業補償契約も締結され、その計画も策定中であると聞いており、これに必要な財源は莫大なものであると思う。このような状況の中、

第一次産業は低迷を続けており、過疎化に歯止めをかけ、町の活性化を図る意味からも第一次産業を振興発展させることが重要であると思う。財政が厳しい中、開発事業に対する経費と一般行政に必要な経費のバランスはとれてゆけるのか。

西田町長：当町の根幹を形成している農林水産業及び商工業の振興は、町の均衡ある発展を図るうえで非常に重要であり、これらの推進に努力を傾注していきたい。しかし、総花的行政の推進を図ることは難しく、有効適切な事業を積極的に取り入れ、財政の中長期的展望に立って、緊急性、必要性などを踏まえ、各産業間のバランスのとれた施策を展開し、時代の求めに応じたバランスのある町政の推進を図るため、その活力を引き起こしていきたいと考えているので、ご理解とご協力をお願いしたい。

指導体制の強化

教育体制の確立

和田議員：松山市の中学校では、暴力事件が発生し、生徒が逮捕されるというニュースが報道されており、わが長浜町でも「イジメ」「非行」などが発生していると聞いている。人づくり教育については就任あいさつの中でも述べられており、二十一世紀を背負ったつ児童、生徒の健全育成は非常に大切な課題であり、心身共に調和のとれた健全な教育体制の確立を



健やかな成長を願って健全な教育を

図ることが緊急の問題であると考え、具体的にどのような人づくり教育をしていくのか。

西田町長：昨年の刑法犯少年の市町村別補導状況を見ると県内でワースト一位と最悪の事態であったが、今年度は部活動の全員参加を奨励し、学校側の指導体制の強化やPTAの協力により沈静の途を歩んでいる。

その結果、軟式野球で連続優勝、ブラスバンドも金賞を受賞し、部活動を通じて教師と生徒の心のふれ合いが活発になり、非行問題は皆無の状況となっている。

学習面でも向上のきざしがみえ、今後は、婦人会、PTA、愛護班活動等を通じて家庭教育の充実と学習指導の強化を図り、豊かな人間性、社会性を備えた次代を背負う健全な人づくりを進めていきたい。

補助事業導入

円高による影響対策

和田議員：円高デフレが続く景

気が後退し、長浜町でも個人消費が伸びず、町内の活性化を図るうえで内需を拡大していく必要があると思う。企業感覚をもたれた町長であるから十分考慮して頂いていると思うが、新年度の予算編成時期も近づいており、公共工事など円高による影響対策はどのように考えているか。

西田町長：新年度予算の調製については例年より一か月早く作業に入る予定であり、第二次開発事業はもとより、一般公共事業についても可能な限り、国、県の補助事業導入を図り、予算編成の中で考慮していきたい。

国、県道の整備による公共投資は、地元の受け入れ体制の確立を図り、その実施に向けて全力を傾注していきたい。

環境アセスが必要

河辺川ダム分水

中野議員：河辺川ダムの分水については、三年前に新聞発表で明らかになされて以来、いろいろな席で話をしたが、町民の方から分水に賛成する声はでておらず、皆んなが反対している。本町の水源である柴の取水地では年々塩分が増加しており、野村ダムより南子用水の導水路が完成すれば肱川下流の水量の減少が予想され、現在の水源地での取水が困難になることは必定だと思ふ。

この重大問題に関して、分水に全面的に反対か、あるいは条件付きで受け入れるのかご所見を伺いたい。

西田町長：今回建設が推進されるようとしているダムは、治水、利水双方の機能を有した多目的ダムであり、注視しなければならぬのは、中子地区への分水計画が含まれていることである。

ダム利水容量では、約五八・五％が中子分水にあてられ、維持流量のための容量を除くと肱川流域のかがい用水にはわずか五％があたりられる計画となっている。また、野村ダムからの南子用水計画も近い将来完成するためただ単に河辺川ダムの利水計画のみにとらわれることなく、肱川の総合利水計画というものを考慮し、検討しなければならぬ。このためには、環境アセスメントを実施する必要がある。共存共栄してきた当町としては肱川の流量は豊富とは言いが、諸々の変化を呈しているのが実情である。

企画班を設置

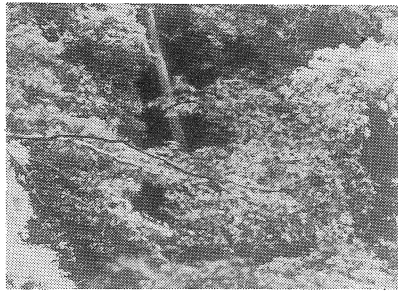
町づくりと観光施設

中野議員：秋の観光シーズンとなり、白滝を訪れる目的は滝と紅葉が織りなす美しい景観を楽しむためであるが、休憩所や立見所では枝が張り出し、滝が見えにくくなっている。また、石段に手すり

をつけるとお年寄りが登りやすくなると思うので整備をして頂きたい。

長浜町の観光資源は、沖浦観音、住吉神社、海水浴場、白滝、出石寺などがあるが、金は落とさず、ゴミだけ落ちるという状態で、町の活性化にはなっていない。人為的資源が必要ではないかと思う。

水を利用した水車、ミニ発電、炭焼き、樽づくり、民芸品、紙すき、お祭り広場などイベントにより、ふるさと志向のニーズに合うひとつの観光村を形成し、そこで製作したものを即売し、駐車料金、入場料などを徴収することによって運営できると思う。このようなイベントづくり、村おこしについてどのように考えているか。



紅葉と滝が美しい白滝

西田町長：昭和五十五年の基本構想を策定し、町づくりを進めており、第二次開発事業を緒につけ、第三次開発事業計画の具体的検討に向けて邁進している。

七月一日付けで町づくり企画班

を設置し、町づくり計画の検討と各種補助事業の導入を考慮した計画的な推進を図るため検討させている。

町づくりは、行政サイドのみで実施できるものではなく、皆さんの熱意と創意が必要であり、各界各層の方の意見を聞かせて頂き、町民各位の付託に応えられる町づくりを推進していきたい。

国の施策決定受け

水田の改良整備

菊地(儀)議員：生産基盤の整備事業がたいへん立ち遅れており、特に中山間地帯の水田の改良整備は、高齢化に伴い、兼業農家移行の中にあつて、個々の面積も狭く、作業道も完全でなく、農機具等も安全に使用できない状態である。外米の輸入問題が論じられているが、町内各地域農家の存続にもかかわることであり、水田農業の国民的価値、重要性に鑑み、早急に取り組んで頂きたい。

西田町長：今後の農林業は、就業者の高齢化と雇用労力の不足に備えた省力化の体系づくり、外国からの農林産品の輸入拡大、国際価格に対し、低コストで高品質のものを生産することであると考えている。

水田においては、白滝、柴、下

須戒等の地区で、所有者が参画できるものは区画整理を行い、機械導入による肥培管理が可能な条件づくりを終了して大型機械が作動している。農林業の基盤整備を行い、省力化するためには農林地の集団化が必要であり、第一次、第二次の構造改善事業で取り上げてきたが進展せず、用地が分散して経営の近代化と投下労力の節減を阻害されている状況である。中山間地帯の水田へ機械導入が可能な補助整備を行う場合、所有権や集団化の解決が先であり、段畑の整地

工事は単価が上昇するため、農家個々の負担能力、農地配分の理解度など進めなければならぬものが多い。優良水田の確保が必要であることは認識しており、国の水田施策決定を受けて対応を考えていきたい。

アイデアを聞き

新しい施策を

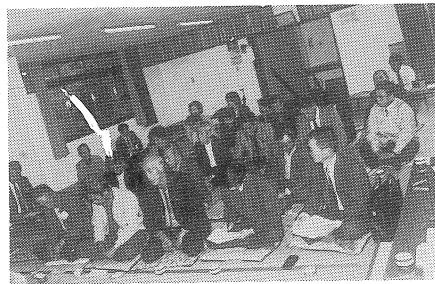
林業振興

菊地(儀)議員：最近、円高の影響も手伝って、材価の低迷により二十五年生以下の間伐材の利用できない林野が町内には約千三百ヘクタールもあると聞いている。国庫補助事業による間伐促進対策事業が進められており、本町は約三百二十ヘクタールである。残り千ヘクタールの林野について早急に実施できるよう配慮して頂きたい。また、一般間伐材の有効利用に

ついて町の活性化のためにも、五次産業を進めるべきではないかと思うがどのように考えているか。

西田町長：県下の林業地帯では既に森林組合、後継者グループ、木工業者、一般林業家が間伐材の活用についてアイデアを出して、簡易ハウス、机、名札、遊具、民芸品等を創作し、村おこし運動、地域の銘柄物産の産出にめざましい活動をしている。

関係組合の皆さんや後継者の方々の忌憚のないご意見、アイデアを十分にお聞きして他町村に負けない新しい施策を生みだしていきたいと考えているので、ご指導をお願いしたい。



皆さんの意見を聞いて...

町づくり委員会

を設置

開発事業が基本

振興計画の策定

田中(定)議員：長浜町には活力

活気がないと思う。他町村をみると内子町では地域おこしのためのシンボや五十崎町では大ダコ合戦や大ダコ博物館の建設計画、河辺村では子供議会など催して地域の活性化が図られている。

長浜町でも、町民の提言を募集したり、小、中、高校生には作文町職員にはレポートを募ったり、また、各地区で懇談会を催したり、町民総参加で未来のプランづくりを真剣に考えてみる時期にきていると思うがどのように考えているか。

西田町長：現在、長浜町としては第二次開発事業、第三次開発事業というものが町づくりの基本になっており、この選択はまちがっていないと思う。

しかし、町民の方々の要望はどのようなハード面だけでなく、指摘のソフト面での町づくりにも関心をもちたいと、全国の町村をみてもソフトの町づくりに力を入れておるようであり、大切であるということも私も認識している。現在、役場内で町職員のアイデアを募集しており、七十くらいでている。ソフト的な町づくりは、住民一体となってやらなければ成功しないと思うし、町づくり委員会的なものをつくっているいろいろなアイデアを募集したいと考えている。個性と魅力のある、そして周りから来て頂けるような特徴のある町づくりを進めていきたいと考えているのでご指導、ご協力頂きたい。

文化的要素も 町づくり

行政姿勢とビジョン

堤議員：人の頭に立つものは公平で、公正、無私、無欲で正しい政治を行わなければならないと思うが、町長はどのような姿勢で長浜町政を行っていくのか。

次に、地域住民の安定のためのビジョンをもって町政に取り組みたいと思うが、そのビジョンを町民に示し、賛意が得られた時企画がたてられ、計画にのせ実行に移し、実現して町民に喜ばせられ町長が評価され、立派な町政が生まれるものと思う。町民がどのようなニーズを求めているかをどのように把握しているか。



長中文化祭で披露する豊年踊り

西田町長：行政公僕たるものは公正で正しい心構えでやらなくて

はいけないと心に念じている。公平で公正な立場で町民の願いを実現するため、私の情熱と気概をもって当たるつもりである。

ビジョンとしては、町の活性化についてハード、ソフトの両面で町づくりをしていくことを基本として、第二次開発事業の完成、成功、第三次開発の推進、また、住民を中心としたアイデア的なものを掘り起こして、働く場所を確保しながら文化的な要素も町づくりに組み込んで、住民、町一丸となつて取り組んでいきたい。

堤議員：長浜町はよそと比べて文化的要素に欠けていると思う。長浜町の姉妹都市捜し、あるいは青少年の海外派遣などを考えてはどうか。

西田町長：姉妹都市とか青少年の海外派遣なども町づくり委員会等の中で、積極的に意見を出して頂き、行政と町民の皆さんがいつしよになつて進めていきたい。

完成した段階で

埋立地の完売

堤議員：第二次臨海工業開発の用地の完売の用途について伺いたい。現在のような厳しい状態で、坪十数万円の高値で当町への進出企業は考えられないと思うが、今後どのような考えで処置していくのか。その後、企業とどのような手応えがあったのか。

西田町長：昨年の議会でも二宮

前町長が答えているとおり、県外の企業十二社から土地取得申し入れを受けており、工場等の建設計画の計画書の提出により用地譲渡契約が締結されているのでご安心頂きたい。

堤議員：この円高の時代に、十二社が必ず受けとってくれるのか。最終の安全弁として、共同企業体が受け取るんだという話を聞いているが、それで解決できるのか。

西田町長：実際の売り買いの行為は土地ができてからであり、契約をもとに土地が完成した段階で誘致を具体的に進めていきたい。十二社以外にも二、三社との交渉を進めている。

中期的財政

計画の中で

第三次開発の諸問題

堤議員：漁業補償の一億四千八百五十万円は、県営工事であるのになぜ地元が金をださなければならぬのか。事業が進む前にこの漁業補償がされるべきであり、事業が進んで都合が悪くなつてからだしていくという町の行政姿勢が疑われる。

漁業補償の内容について、漁業権の消滅区域がいくらあり、どのような方法で計算されたのか。第二次開発事業の七億五千万円を算定した基準によって計算し、平米

数がでているのか。

第三次の埋立総事業費は最終的に町負担分で四百七十億円から五百億円、八十二年度に完成するということであるが、町の予算総額がどのように推移していくのか。

土地を造成することは結構だが、そこに水族館、役場などを建てていくということであるが、現在の日本経済の中で、当町だけがこのようなことがやっていると聞いているのか。

西田町長：補償額というのは一定の基準のもとに算出したものである。第三次開発事業は、中期的財政計画の中で十分に対応できるということを見極めたうえで、の開発事業であり、現在、中期的、長期的財政計画をつめているので安全に進められると考えている。

水は余っていない

河辺川ダム建設

堤議員：水は貴重なものであり捨てるものがあればよそへあげてもいいと思うが、当町に対する犠牲が大きければ考えなければいけないと思う。

一番影響のある長浜町が一番行動に遅れていると思うが、町単独としてどのような動きをしているのか。

西田町長：ダム建設、分水については県議会で白石知事よりだされて以来、大きな関心をもって慎重に対応している。長浜は最下流

地域ということ、悪影響をこうむるのではないかと危惧している。飲料水、漁業関係、生態系の変化などいろいろな分野で抽出して、対策あるいは調査をしたいと考えている。

堤議員：愛媛県民の水が足りないのならヘリコプターでも送ってあげる気持ちを相手に理解してもらって、分水していく方向にもっていくべきではないかと思う。

長浜町は守らなければいけないが、害がないのなら残った水を分水するのもやぶさかではないと思うが町長はどのように考えているか。

西田町長：大洲市と意見交換をしながら進めており、現時点で水は余っていないと感じている。将来のことは見通しはつかないが、取水地の問題などはその時になって考えなくてはいけない問題だと思ふ。

鉄道存続に

最大限の努力

国鉄の分割民営化

堤議員：国鉄の分割民営化に伴い、イベントを催したり、SLを走らすんだというような新しいアイデアをもって、当町も今から汽車に乗って国鉄の存続を図っていく考えのようであるが、十年も十五年もスタートが遅れているように思う。これからは、分割民営化というものをどのように本町に

町議会第3回定例会

取り組んでいくのか。民営化にならるまでに、第三セクターというものを考えておかなければならないと思う。アイデアをもって取り組んでいけると思うが、この分割民営化についてどのように考えているのか。

西田町長：鉄道を存続させるということは地域住民の願いであり、民営化になってもこのことはお願いしなくてはならないと思う。

また、国鉄を利用してもらう啓蒙運動をしながら、観光的な要素を国鉄とむらおこしに結びつけて松山からの乗客の増加をねらったかどうかという話を四国総局長に申し上げており、SL列車はむづかしいとしても、この鉄道に何らかの魅力をつけて利用者を増やすという考えには同意を頂いている。いろいろな知恵を出して利用客を増やし、国鉄を存続してもらい、また、地域住民の皆さんのご意見を聞きながらひとつの事業としてやっていきたい。

堤議員：「残してくれ」ということは建前論であり、本音は本音として何かを考えておかないといけないと思う。町財政の中でやっていけるいろいろな方法をたてておかないといけないと思うがどのように考えているのか。

西田町長：第三セクター的な鉄道経営というものを考えておかなければいけないということで、先

進路線を調査するよう担当課に指示している。あらゆる面に目を向けて調査し、鉄道存続について最大限の努力をしていきたい。

正しい姿勢で

公共事業の業者選定

堤議員：公共事業の目的は、地域住民の利便性と公共事業の投資による経済効果の波及がある。公共事業は日本経済の柱であり、過疎過密を調整するためにはたいへん重要である。菊間町では、町長、議長が虚偽の陳述で告発されているが、このような問題が当町にはないのか。三親等以内について、町発注の公共事業は遠慮していくべきではないか。町民から疑われ、指摘を受けるようなことにかかわらない方が町長という立場からは大切ではないか。

西田町長：長浜町の仕事は、長浜町の業者にやって頂きたいというのが私の気持ちであり、公正でかつ正しい姿勢で業者の選定に当たらないといけないと考えている。公正な正しい姿勢というものを持たれることはないかと確信している。地域住民の皆さんのコミュニケーションを図りながら行政を推進していきたい、疑いのもたれることのないよう努力していきたい。

新教育長に木田氏

三井前氏が教育長を辞任したのに伴う後任の教育長の選任は、十月二十八日に教育委員会が開かれて、委員五人による互選で教育長の選任が行われた結果、木田正統氏(六〇・沖浦)が選ばれ、十一月六日に開かれた県の教育委員会でも承認され、新しい教育長に選ばれました。

教育委員に

木田、松田氏

【木田正統教育長略歴】愛媛師範学校本科卒。昭和二十年大和第一

【農林水産業費】今坊地区地すべり調査負担金百万円。農道舗装、水路整備等の原材料二百万円。登立農道舗装事業に四百三十五万円。高峰農道舗装事業に四千二十六万二千円。スギカミキリ等被害木伐倒駆除及び有害鳥獣駆除事業の補助金四十二万円。地域沿岸漁業構造改善事業補助金二百三万円。商店街へ町外の顧客を誘導するための看板設置補助金四十万円。

開発事業委託料

一般会計補正

昭和六十一年度一般会計に一億二千八百九十七万七千円が補正され、予算総額は三十七億二千二百七十一万六千円となりました。今回補正された主な使いみちは次のとおり。

【総務費】庁舎配電盤および屋内配線改修費に百万円。国鉄民営化先進企業調査旅費に四十万円。第三次開発事業基本計画の委託料に三百万円。脇川流域開発シンポジウム負担金四十四万八千円。大久保集会所、上区集会所の陽だまりの部屋の備品購入費に八十一万二千円。

【民生費】身体障害者住宅整備事業補助金十三万三千円。老人保健特別会計への繰出金一千五百二十五万九千円。県同対長浜支部への補助金など。

小学校教諭をふり出しに、豊茂小学校長、大和小校長、長浜小学校長、長浜町校長、喜多那校長、愛媛県音楽部副委員長などを歴任。沖浦。



委員黒田正九郎氏は十月二日をもって退任されたのに伴い、後任委員を決める選任同意案件で、松田吉幸氏(五四・豊茂)に写真を選定、議会の同意を求めた結果、万場一致の同意を得て教育委員に決まりました。



長浜町教育委員会委員・三井前氏は九月二十日をもって退任されたので後任の教育委員を決める選任同意案件で、木田正統氏(六〇・沖浦)に写真を選任、また、同

請願、陳情書を受理採択

長浜町連合婦人会長・伊藤ヨシ子さんから提出されていた「少額貯蓄に対する非課税制度の存続に関する請願文書」、柴小学校PTA会長・山中高光さん、柴小学校校長・滝内千工さんから提出されていた「柴小学校屋内運動場建設陳情書」、出海小学校PTA会長・河野保さんほか七人から提出されていた「出海小学校プール建設に関する陳情書」はいずれも受理採択されました。

意見書を可決

少額貯蓄に対する非課税制度 西宮正幸議員から提出された少額貯蓄に対する非課税制度の存続を求める意見書が可決されました。

請負契約承認

昭和六十一年度喜多漁港漁業集落環境整備工事は、四千七百万円で株式会社西田興産と請負契約を締結することが承認されました。

現在長浜町の財政

財政状況の公表

長浜町の財政事情の作成および公表に関する条例により昭和61年度9月末現在の財政状況を公表します。

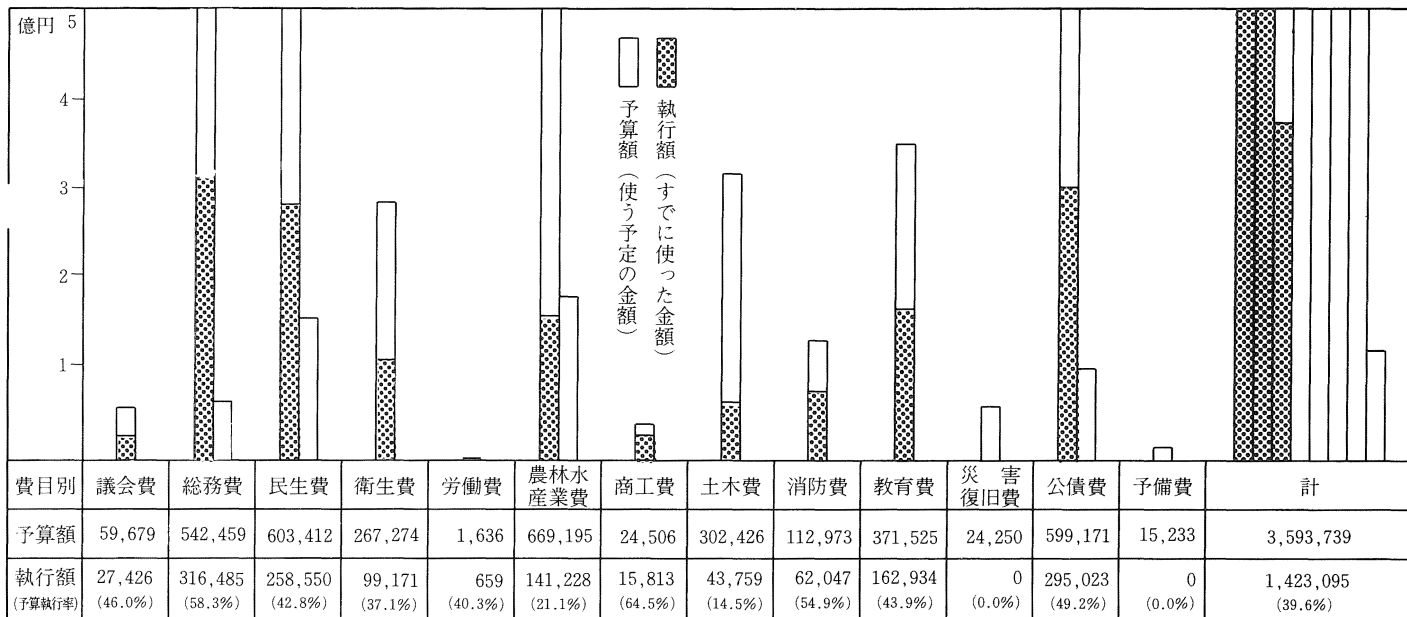
昭和61年11月 長浜町長 西田洋一



会計

歳出（使うお金）

（単位：千円）



特別会計

国民健康保険



予算額 824,563千円
収入済額 299,487千円
支出済額 319,976千円

国民健康保険直営診療所



予算額 14,170千円
収入済額 1,684千円
支出済額 9,614千円

臨海土地造成事業



予算額 2,636,678千円
収入済額 148,500千円
支出済額 198,186千円

老人保健



予算額 594,465千円
収入済額 330,250千円
支出済額 324,587千円

住宅新築資金等貸付事業



予算額 29,641千円
収入済額 8,476千円
支出済額 12,851千円

港湾施設事業



予算額 12,500千円
収入済額 4,113千円
支出済額 5,736千円

簡易水道事業



予算額 201,313千円
収入済額 8,154千円
支出済額 52,983千円

水道事業会計

収益的収入済額	79,272千円
収益的支出済額	53,768千円

工業用水道事業会計

収益的収入済額	6,590千円
収益的支出済額	8,973千円

税別収入状況

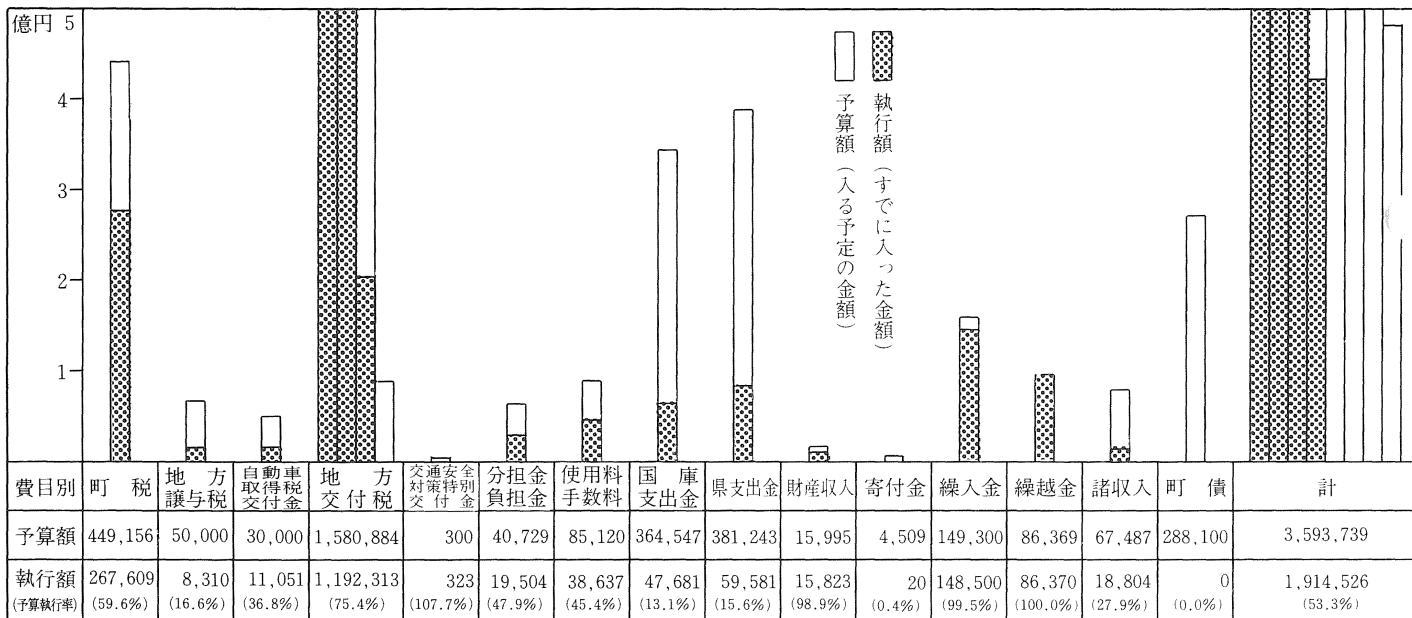
（単位：千円）

税種別	予算額	収入済額
町民税	202,214	117,548
固定資産税	172,579	102,200
軽自動車税	10,947	11,450
たばこ消費税	37,222	21,913
電気税	25,920	14,254
木材引取税	30	0
特別土地保有税	244	244
合計	449,156	267,609

昭和61年度9月末

一 般

(単位：千円) 歳入 (はいるお金)



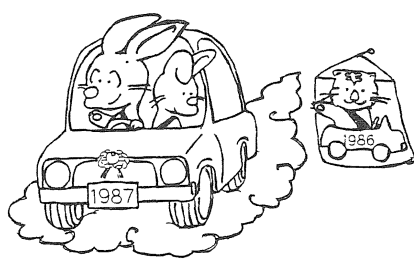
無事故でつなごうゆく年くる年

年末年始の交通安全運動

12月21日～1月10日

年末年始は飲酒する機会が多くなるほか、交通がふくそうし、気ぜわしさも加わって交通事故の多発が予想されます。県民総ぐるみで、温かい思いやりの心をもって、正しい交通ルールの実践に努め、交通事故防止の徹底を図ることを目的に、六十一年十二月二十一日から昭和六十二年一月十日までの二十一日間、年末年始の交通安全県民運動が展開されます。

「飲酒、暴走運転の追放」「高齢者と子供の交通事故防止」「シートベルトの正しい着用の徹底」を重点目標に、県、市町村、警察、交通安全協会などが相互に連絡協調を図りながら活動を推進することになっています。



愛媛県知事選挙

62年1月11日

みんなこぞって投票しましょう

十一月十三日に愛媛県選挙管理委員会が開かれ、昭和六十二年一月二十七日で任期満了となる愛媛県知事選挙の日程が決まりました。告示は、昭和六十一年十二月十二日、投票日は昭和六十二年一月十一日となりました。

不在者投票は、十二月二十二日から一月十日までの間、午前八時三十分から午後五時までで町体育館でできます。投票日当日、投票所へいけない方は、不在者投票ができませんので前もって済ませておきましょう。

国鉄コーナー

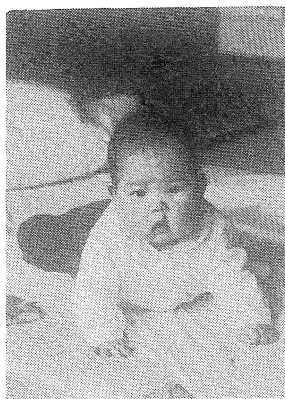
切符は町内の駅で買いましよう

海岸線の願いは町民の願いと課題です。海岸線を守るため、次のことを実践しましょう。

- ①旅行、出張などの際には必ず町内の駅（長浜、白滝）で切符を購入してください。車内での購入は町内売上げの実績になりません。
- ②往復切符も町内の駅で購入しましょう。全国の各路線の切符も一括で購入できます。
- ③定期、回数券も町内の駅で購入しましょう。
- ④長浜駅では、自動販売機（二台）を利用しましょう。（松山、宇和島の全区間の切符が購入できます。）
- ⑤町内の駅では、特急（新幹線）

一歳ですコンニチハ ④2

篠田文香ちゃん（出海）



（父）篠田高夫さん33歳・母）美佐子さん33歳

昭和60年11月28日生まれ

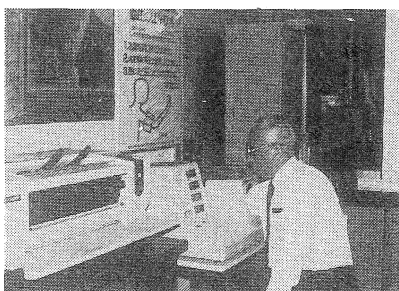
名前は女の子なので、できるだけ可愛いらしく、大きくなったら少しでも賢い人間になって欲しいと文香とつけました。将来は女の子らしくとやかな人間に育って欲しい、そしてできることなら自分の好きな方向へ進ませたいと思います。

寝台および指定席券の電話予約（利用一か月前から）も受け付けています。
国鉄に対するご意見、ご要望は、国鉄長浜駅、白滝駅、または国鉄予讃本線対策協議会事務局・長浜町役場開発課（☎52-1111）へお寄せください。

自動血圧測定計

役場玄関ロビー

長浜町役場玄関ロビーに、自動血圧測定計を設置しました。これは、町民の皆さんの健康に対する意識を少しでも向上してもらおうと設置したもので、測定計の一部に設けられた円筒に腕を入れ、スイッチを押すだけでOKです。デジタル表示の数字が約三十



玄関ロビーに設置した自動血圧測定計

秒間点滅し、その間に血圧が測られます。測定後は、最高最低の血圧データと派はくデータがプリンタされてでできます。手軽に血圧が測れますので、皆さん多めに利用して、自分の健康は自分で管理、るよう心掛けてください。

見舞金を交付

心身障害者

身体障害者手帳あるいは療育手帳の交付を受けて、十二月一日現在長浜町に住んでおり、住民登録をしている人には、十二月に見舞金が交付されます。

この見舞金を受けるためには、定められた様式で申請手続きをしなければなりません。詳しいことは役場住民課へおたずねください。
【身体障害者手帳】▽一級、二級の方：五千円▽三級、四級の方：四千円▽五級、六級の方：三千円
【療育手帳】▽Aの方：五千円▽Bの方：四千円

検察審査会へ

交通事故で被害を受けたのに、加害者は処罰されなかった。つまり警察、検察庁で調べたが、不起訴処分になってしまった。どうしても納得できない。でも、これをだれにどうしてもらったらよいか判らない。こんなときどうしたらよいでしょうか。
検察審査会へご相談ください。交通事故だけでなく、詐欺とか窃盗、おどしなどすべての犯罪についても同様です。
費用は一切いらず、秘密は守られます。遠慮なく相談しましょう。
大洲検察審査会は、大洲市大洲八四五 松山地方裁判所大洲支部内（☎24-2038）にあります。

ご協力ください

製造事業所の皆さん

昭和61年工業統計調査
石油等消費構造
統計調査

通商産業省では、昭和六十一年の「工業統計調査」と「石油等消費構造統計調査」を、十二月三十一日現在で行います。調査の対象となる製造業を営む事業所には、年末から一月にかけて調査員が伺います。調査票に記入された内容は、統計以外の目的に使用されることは決まてありませんので、安心してご協力くださるようお願いいたします。

釣りはしないので!!

新大橋付近

最近、新大橋やその付近で釣りをする人が増え、通行車や通行する人に迷惑がかり、苦情が寄せられています。新大橋上での釣りは非常に危険ですので、橋付近での釣りはしないようにご協力ください。



この付近での釣りは危険です

長浜文芸

柴井句会

- 米ソ会談不調らしきや栗を剥ぐ 小西かめ子
- 新米を名前大きく供出す 坂井喜久子
- 戦友と来た思出や萩の寺 徳田 静子
- 廃屋に人待ち顔の秋桜 窪 美恵子
- 稲熟れて村の夜明を早めけり 清水 潔子
- 思い秘め作り納めの稲を刈る 新 満穂
- 百姓に分る豊作鎌の味 坂井 良恵
- 赤い羽根人に踏まれて 清水よし子
- 小紫光を浴びつ艶やかに 柴中 年栄
- 西國の山々深し葛の花 林 定子



「良」であったことを反省し、「快眠」を得る工夫をしたいものです。

睡眠には

リズムがある

心地よい目覚めの朝を迎えるためには、大切な「条件」が二つあります。一つは睡眠時間です。成人の場合で七時間から八時間は取らなければなりません。もう一つは、「深い眠り」にひたることです。

正常な眠りには、浅い眠りと深い眠りの時間は意外に短く、八時間の睡眠中のほんの一時間足らずです。効果的な睡眠を得るためには、午前二時ごろに深い眠りに入る工夫をすることです。仕事から夜働かなければならない人は、昼間に睡眠をとらなければならぬのですから、睡眠時間を多くする必要がありません。また、少しでも効果を高めるために、部屋を暗くして、静かに目を閉じ、横になっ

スカッと目が覚め、すぐにもふんから飛び出したくなるような朝は、「快眠」だったといえます。一方、目を開けようにもまぶたがなかなか開かず、体が鉛のように重たく感じる朝は、睡眠が「不

ている時間を長めに取る工夫をしてください。

眠りの

パターンを知ろう

人によって寝つきのよい人と悪い人がいます。寝つきがよいといわれる人は、就寝後間もなく深い眠りに入ることができますが、必ずしもこの深い眠りが朝まで続いている訳ではありません。

一方、寝つきが悪いと嘆きながら、けつこう朝の目覚めのよい人は、深い眠りに入るまでに時間はかかっても明け方近くになると、深い眠りを十分取っているものです。このように、眠りのパターンも

目覚めと睡眠

深い眠りをいつ取るか

色々ありますから、自分の睡眠のパターンを知っておけば、「快眠」を得る方策を見つけ出すのは、決して難しいことはありません。どんなに「素晴らしい夢」でも、目がさめても記憶に残る「夢」を見た時は「快眠」とはいえませんが、

寝室の環境を

一工夫

心地よい睡眠を得るためには、寝室の環境を考えることも大切で、フトンやベッドが軟らか過ぎると「快眠」が得られないように、



枕の高さや硬さ、そして寝室の暗さや静けさ、そして温度なども、睡眠に大きな影響を与えます。また、寝間着はゆつたりとして

吸収性の高いものを選び、昼間の下着は寝る時にはすべて取り替えてください。目覚めが悪いからといって、すぐに睡眠薬に頼るのは問題です。毎日のことだけに、一度「薬」に頼ると毎晩「薬」を飲まなければならなくなります。



腕相撲息子に負け、嬉しさを隠す

アメリカの生物学者ストレーラーやショックらによると、肺活量、最大呼吸量などの生理学的機能は、三十歳ころから年齢とともに直線的に下降するといわれます。

“タバコは町内で”

町内でタバコを買っていただいたおかげで、六十年度は三千八百二十五万二千九百八十七円のタバコ消費税が町の台所に入りました。これからもタバコを買うときは町内で買ってください。

今月の日曜当直病・医院は次の通りです。受付時間は午前十時から午後五時までで、診療は救急患者の方だけです。原則として往診は致しません。

日曜当直医

- ◎12月7日 門屋医院 ☎520202
- ◎12月14日 辻 医院 ☎520174
- ◎12月21日 石村病院 ☎520275
- ◎12月28日 清水医院 ☎520165
- ◎12月29日 米川医院 ☎520165
- ◎12月30日 岡田医院 ☎520639
- ◎12月31日 菊地医院 ☎520209

乳児健診

- ◎12月12日 町体育館 午後1時～2時 対象は昭和61年1月、4月、7月生まれの子供さん。

三歳児健診

- ◎12月18日 町体育館 午後1時～2時 対象は昭和58年9月、10月、11月生まれの子供さん。

三種混合予防接種

- ◎12月17日 町体育館 午後1時～1時30分 対象は満二歳から満四歳までの方三回接種。三回接種完了後、一年～一年半の間に一回接種。

子宮ガン検診

- ◎12月8日 白滝公民館
 - ◎12月9日 大和公民館
 - ◎12月10日 出海公民館
 - ◎12月11日 町体育館
- 時間はいずれも午後1時～2時

体力にあわせ

町内走ろう大会



十一月九日、第十一回町内走ろう大会が行われ、三百二十四人が参加。町体育館前を起点に、二キロ、四キロ、七キロのコースに分かれ、それぞれ自分の体力にあつたコースを選んで、四歳の子供から最高齢は六十六歳の松石千代亀さんまでマイペースで走っていた。

収穫の喜び味わい

柴小・学校田で稲刈り

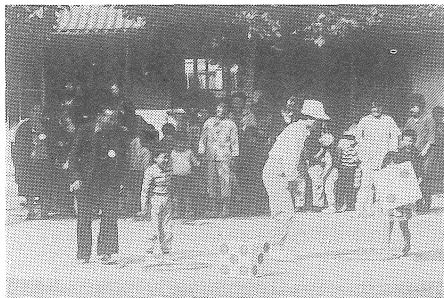
柴小学校(滝南千工校長、三十四人)では、十月十六日、学校田(山中高光さん所有)で稲刈りをして収穫の喜びを体験した。この稲刈りの体験学習は今年で四回目、田植えから施肥など観察を続けてきたもので、十二月にはモチつきをして収穫祭を行うことになっている。



お年寄りと交流

長浜保育所

十月十七日、年寄りとの交流会を開催。高齢化社会を迎え、核家族が進んでお年寄りとのふれあいが少ないため開いたもので、二十三人のお年寄りが出席して、玉入れやサイコロゲームなどを楽しく過ごしていた。



まちの先覚者 ⑥

西村正直(朗月)



西村正直は明治二十年(一八八七)六月四日長浜町に生まれ、長浜尋常高等小学校尋常科一年入学、明治三十五年高等科四年卒業後すぐに長浜銀行にはいった。十五歳の正直は算盤と計算に優れていたのではばらくすると長浜町役場の職員になった。

半ドン会(同年十月)野分する一本杉のうなり哉冬雅吟(明治四十年一月)井戸端の濡れ石寒し冬の月徴兵の沙汰に春待つ男かな満二十歳になった朗月は徴兵検査に合格して入営する。入営を祝して「シブキ」会長の西村笑波は次の俳句を贈った。

(続)

この頃から松井健三(萬年)の主筆する松風会に入り、朗月と号して俳句を始めたのである。明治三十七年十七歳の時の月並句会に次の俳句がある。

河豚食ふや海鼠の様な君にして二年間の兵役優秀で伍長となり満期除隊した朗月は、丸一の村上春蔵に乞われて、伊予木材会社につとめる。そして俳句も続けて行くのである。丸一を退職した後、東京の「若葉」島根の「白魚火」松山の「糸瓜」宇和町の「峠」などの俳誌に投句して、昭和五十年(一九七五)八十八歳で亡くなるまで七十年にわたり、作句に精進し長浜俳句会の燈をともし続けたのである。

ところが、明治三十八年五月に西村兵太郎(笑波)が俳誌「シブキ」を発刊したのである。二十一歳の笑波の新派俳句に、十八歳の朗月も感動して入会、「シブキ」の編集を石川芦月(哲)富田月(風堂)、外山冷神(辰五郎)らと手伝っている。「シブキ」に発表した朗月の作品をぬき出してみる。

昭和三十八年東京俳句研究社へ応募第二席の作品
泊般の短かき梯子月に垂らし
昭和四十五年村上雲月生誕百年記念俳句大会に応募第一席の作品
鴉暗や匂ひ乾ける餅糸
当時の俳人仲間、現在久保勉菅野寿、熊野爽洋(熊雄)が健在である。

日曜会(明治三十九年五月) 臘夜や松原を行く俤の灯
発行所例会(同年六月)
絵踏みせに五島を廻る官の人

(長浜町文化財保護審議会委員・久保七郎)

表彰・スポーツ

表彰***

井内、玉井さん

共同募金・社会福祉

長浜の井内キヨカさんは、多年にわたり共同募金事業に功績があったことにより、沖浦保育所の玉井徳美所長は社会福祉施設従事者として功績があったことにより、十一月十四日東京で開かれた全国社会福祉大会の席上、井内さんは、斉藤十朗厚生大臣から、玉井さんは灘尾弘吉同協議会長から表彰されました。

三秋 俊雄さん

矢野美佐子さん

民生委員・共同募金功労

柴の三秋俊雄さんは多年にわたり民生児童委員として功績があったことにより、また仁久の矢野美佐子さんは共同募金事業に功績があったことにより、十一月十八日松山市で開かれた県社会福祉大会の席上、白石春樹愛媛県知事から表彰されました。

日高照友さん

商工会事業に功績

愛媛県商工会青年部連合会部長の日高照友さん(長浜)は、多大な功績により十月六日東京都で開かれた商工会青年部・婦人部全国組織化二十周年記念式典の席上、岩崎八男中小企業庁長官から表彰されました。

松岡、弘瀬、

日高さん

青年、婦人部で功労

十月十二日、松山市で開かれた愛媛県商工会連合会青年部、婦人部組織化二十周年記念式典の席上、青年部、婦人部の役員として功労があったことにより次の方々が表彰および感謝状が贈呈されました。【中元清吉愛媛県商工会連合会長感謝状】日高照友さん(長浜)【富永徹愛媛県商工会連合会青年部長表彰】松岡昭夫さん(長浜)【久保茂美愛媛県商工会連合会婦人部長表彰】弘瀬悠紀子さん(下須戒)

長浜町商工会

渡辺さんら五人

商工会役員功労

十月二十一日、松山市で開かれた愛媛県商工会連合会法制定二十五周年記念式典の席上、優良商工会として長浜町商工会が白石春樹愛媛県知事から表彰されました。また、商工会役員として功労があったことにより次の方々が、中元清吉愛媛県商工会連合会長から表彰されました。

日高照友さん、西宮正幸さん、熊野昭さん、榊原啓助さん(以上長浜) 渡辺久義さん(下須戒)

納税組合豊茂支部

国民年金事業功労

長浜町納税組合豊茂支部(菊地儀明支部長)は、国民年金事業に功労があったことにより、十一月十

日大洲市で開かれた国民年金委員地区別研修大会の席上、吉原健二社会保険庁長官からの表彰状が伝達されました。

全国大会へ

「町のたより」

が優秀賞

有線放送等番組コンクール昭和六十一年度有線放送等番組コンクールで当町の「町のたより」が優秀賞に輝き、全国大会へ出場することになりました。これは、十月二十八日松山市で開かれた有線放送等アナウンス技術研修会の席上、白石春樹愛媛県知事、柳川清馬有線放送等連絡協議会長から表彰されたものです。

長浜町

人口移動報告

長浜町は、住民基本台帳人口移動報告が優秀であったため、十月十八日王置和郎総務庁長官から表彰されました。町村で二十一番目に受賞したものです。

スポーツ

長浜町議会が優勝

郡町村議会体育大会

十一月六日、五十崎町の龍王グラウンドで昭和六十一年度喜多郡町村議会ソフトボール大会が開かれ、長浜町議会が優勝しました。結果は次の通り。

【一回戦】長浜19-6 内子▽五十崎22-0 河辺【準決勝】長浜18-

11 脇川町
【決勝】
五十崎 4 2 2 8 0 16
長浜 5 6 4 3 × 18

フェニックスがV

長浜ソフト後期リーグ

七月二十一日から十月二十九日まで町民グラウンドで開かれた長浜ソフトボール後期リーグは九戦全勝でフェニックスクラブが優勝しました。

結果は次の通り。

- ①フェニックスクラブ9勝0敗②岸本ジャイヤンツ7勝2敗③豊茂ファイターズ6勝3敗④大和ソフトクラブ6勝3敗⑤役場スラッカーズ5勝4敗⑥農協ファイターズ4勝5敗⑦エラズ2勝7敗⑧ニユスター2勝7敗⑨商工会青年部2勝7敗⑩ニギューズ2勝7敗

白滝同好会が優勝

全白滝ソフトボール大会

第八回全白滝ソフトボール大会後期リーグが九月二十四日に終了、ナイターズ(後期優勝)と白滝同好会(前期優勝)がプレオフを行なった結果、白滝同好会が勝って優勝を飾りました。

後期及び決定戦の成績は次の通り。

- ①ナイターズ4勝1敗②白滝メイツ4勝1敗③白滝同好会3勝2敗④ヤロウ会2勝3敗⑤戒川1勝4敗⑥柴1勝4敗

稲田君ら優勝

町内小学校陸上競技大会

昭和六十一年度町内小学校陸上競技大会が十月十五日、長浜中学校グラウンドで開かれ、各種目で好記録を競いあいました。

男子

- 【六十歳】①稲田智揮(長浜)8秒9②山中誠弘(柴)9秒3③好崎昭文(大和)9秒4【百歳】①中嶋章(柴)14秒7②橋本英二(長浜)15秒2③橋本頼幸(大和)15秒2【六十歳ハードル】①谷本悟乃(長浜)9秒9②中村智也(出海)10秒1③畝中宏幸(大和)11秒2【走幅跳】①稲田智揮(長浜)4.41②山中誠弘(柴)3.87③小西智也(出海)3.87【走高跳】①中村智也(出海)1.13②清水淳一(長浜)1.23③村上礎聰(榊生)1.13【ソフトボール投げ】①明智太志(長浜)47.73②大田喜秋(白滝)45.52③河内裕二(榊生)44.32【四百メートルリレー】①長浜59秒8②柴1分01秒9③出海1分02秒0

女子

- 【六十歳】①松栄美紀(長浜)9秒3②久保田佳津美(戒川)9秒5③奥嶋布美(大和)9秒6【百歳】①楠本純子(大和)14秒8②松栄美紀(長浜)15秒5③石堂純子(戒川)16秒1【六十歳ハードル】①河内美紀(出海)



町にはジングルベルの音が流れ大売出の旗がなびき人の往来もあわただしい。「光陰矢の如し」を実感として受けとめる。1986年も暮れようとしている。世は円高不況に見舞われ、企業の倒産や失業者の増加は暗い影を投げている。減税を楯に大型間接税の導入を提唱。それでも財源不足とみて少額貯蓄(マル優)にまで課税したいという。低所得者や老人が瓜に灯をともし思いで貯蓄し、子女の教育や病気に備え老後の為にとささやかな夢を託して来たものなのに……。税制改革も教育や諸政策も机上の空論で国民の実態を無視しては国民の夢も希望もなくなる。外国の農産物輸入、漁獲制限も国民の生活を圧迫しつつある事を理解しているのだろうか。老人医療費の増額や国鉄の民営化も国民の福祉には逆行している。只外国のご機嫌とりに窮々とするより、軍事費を押さえ国内産業の振興国民の福祉、経済の建てなおしに全力を傾けて欲しい。本町も若い町長のもと町民をあげて新興長浜建設に邁進し明るく豊かな町づくりを期待してやまない。除夜の鐘も響く。総点検総反省をして新年を迎えよう。

町では、団地入居者を次の要領で募集しています。

【募集住宅】 小浦団地マ一種二戸(三棟六号、四棟五号)マ二種三戸(八棟四〇三号、九棟一〇一号、十棟四〇四号)

【募集期間】 12月15日～1月14日

【入居時期】 62年2月1日

町営住宅入居者募集



10秒8②夏井希(長浜) 10秒8③西田旬里(櫛生) 11秒5【走幅跳】①叶岡美由紀(大和) 3.77②河内美紀(出海) 3.76③山本恭子(長浜) 3.65【走高跳】①楠本純子(大和) 1.73②久保田佳津美(戒川) 1.70③山本恭子(長浜) 1.65【ソフトボール投げ】①藤岡愛(喜多灘) 39.98②河野乃理子(出海) 37.91③叶岡千恵(大和) 36.53【四百リレー】①大和1分03秒0②長浜1分03秒4③櫛生1分06秒9

【返済方法】 元金均等償還、元利均等償還選択可

【受付期間】 昭和61年10月27日～昭和62年1月5日

詳しいことは、(社)愛媛県年金福祉協会(☎0899-41-7667)へお問い合わせください。

【融資利率】 年五・七五%(一般貸付)

【返済方法】 元金均等償還、元利均等償還選択可

【受付期間】 昭和61年10月27日～昭和62年1月5日

詳しいことは、(社)愛媛県年金福祉協会(☎0899-41-7667)へお問い合わせください。

詳しいことは、総務課財政係までお問い合わせください。

マイホーム資金は「年金住宅融資」で!

昭和六十一年度第三回年金住宅融資を受け付けています。

【利用できる方】 厚生年金保険等の加入者で、加入期間が三年以上ある方。

【資金の使いみち】 新築住宅、マンション、建売住宅、中古住宅の購入および増改築などの住宅改良資金(無抽せん、先着順)

【融資金額】 三百二十万円～一千万円(老人、身障者同居の割増あり)

【融資利率】 年五・七五%(一般貸付)

【返済方法】 元金均等償還、元利均等償還選択可

【受付期間】 昭和61年10月27日～昭和62年1月5日

詳しいことは、(社)愛媛県年金福祉協会(☎0899-41-7667)へお問い合わせください。

長浜市長 長保 船津 善治 長男 貴裕
沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長
沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長

お誕生おめでとう!!

10月届出分(敬称略)

住所氏名 婚姻届時年齢

仁久 宮内 章次 (二八)

宇和島市 山崎 佳子 (二七)

長浜 今村 徳之 (二三)

八幡浜市 若松 玉重 (二九)

沖浦 藤井 一彦 (二七)

沖浦 和田 栄子 (三一)



10月のトップは
宮内章次・佳子さんのカップル



寄付採納

○藤葉流舞の会・友弥教室(代表 泉友江さん)：現金一万五千元を長浜町へ。

結婚

10月長浜町役場届出分

住出豊出住
須戒海海茂海所
生戒海海茂海所

松藤濱畑村中
井岡口澄橋田氏
タミ文吉テサ名
ケサ子ウノ名
ヨラ子ウノ名

おくりやみ

10月届出分(敬称略)

沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長 沖浦浦長
浦茂浦長 浦茂浦長 浦茂浦長 浦茂浦長 浦茂浦長 浦茂浦長
津田田上 津田田上 津田田上 津田田上 津田田上 津田田上
田田田上 田田田上 田田田上 田田田上 田田田上 田田田上
哲光孝哲国一
也一之夫美治
長長二長長長
女男男女男男
真一智絵仁大
希貴由梨志樹

NTT コーナー

お祝い電報はお早めに

お祝い電報の受付は、10日前から配達日の3日前までにお申し込みになると150円割引になります。「配達日指定」のお取り扱いは無料で、配達日の午前または午後を指定できます。

NTT伊予長浜電報電話局 TEL 116番

人口世帯数

人口をふやしましょう

	11月1日現在	前月との比較
人口	12,042人 (男 5,681人 女 6,361人)	6人増 (7人増 1人減)
世帯数	3,818世帯	2世帯減

「師走」何となく気ぜわしさを感ずる月です。今年を振り返って、充実感を味わえる人、あるいは何かをやり残して後悔する人、いろいろあると思います。十分反省したうえで、来年に向かって挑戦していきたいものです。

ところで、今年は何となく、むらおこしというようなことをよく耳にしました。これは、みんなが地域活性化を望んでいる表われだろうと思います。「明るく、住みよい町」みんなが望んでいることです。自分たちの住んでいる周囲をもう一度見つめ直して、いいアイデアを出し合い、今ある資源をあらゆる角度からながめて有効利用していきたいものです。ご意見お寄せください。

(お)

編集後記